

1999年度 秋の学会 原子核三者若手総会議事録 (島根大学)

文責：2000年度 三者事務局(筑波大物理)

1 会計報告【'99年度三者センター校(北大)】

'99年度三者センター校から，'99年度三者若手の活動費(主に'99年度夏の学校)の決算報告なされ，承認された．'99年度の決算は127,041円の黒字(1999/9/24現在)となっているが，これは次の理由による．

- 申請された予算に対し，各役職校が支出を節約したこと．
- 高エネルギーパートの講義が1つ減ったこと．

2 '99年度三者名簿校(名大)の決算および議案

'99年度三者名簿校の決算報告がなされた．印刷した名簿に一部落丁があったため，印刷代が議案書にある代金271,950円より9,000円安くなった．現在，代金振り込みが済んでいない研究室に催促中であり，最終的な決算報告はYONUPA，役職校メーリングリストを通して行う．

来年度は、三者若手名簿の購入方法として注文と同時に代金を支払う方式(名簿の価格は若干高めに設定)が提案され，承認された．

Q. 名簿の発送を夏の学校の前にできないか？

A. 上の議案が承認されたので，2000年度は名簿の発送をスムーズに行えるようにする．

3 講義録，HPについて【'99年度三者事務局(新潟大)】

● 講義録について

例年は5月頃に原稿を募集し6月に作成している．この状況だと予算の見積もりが難しいので，年度内に講義録を作成したいとの要望があった．しかし準備校との相談の結果，これ以上早くすることは難しく，よって講義録の作成は例年通りとする．

● ホームページについて

YONUPA ホームページに事務局のセクションは作成済み．また，各年度の事務局がホームページをリモート操作できるように改善する．

4 '99年度三者準備校（東工大・九大）の決算

1. 準備校活動費

§ 1 の'99年度決算で報告されたとおり、概ね予算に沿って支出された。

2. 夏の学校費用

一人の方が無断欠席したため、議案書 p. 6 の支出の部が以下のように訂正される。

項目	
ホテル代	7,292,700
旅費補助	1,197,912
手数料	26,198
計	8,516,810

これを受けて、

$$\text{収入} - \text{支出} = 8,971,830 - 8,516,810 = 455,020 \text{ 円},$$

およびセンター校への返還額は521,271円（ホテル前金のために借りた100,000円を引くと421,271円）となる。

5 議案【九大核理】

夏の学校の参加費の位置付けについて話し合われた。主な意見を以下に纏める。

- 本来、“三者若手”の活動のひとつとして“夏の学校”があるべきだが、現状では“三者若手”=“夏の学校”という図式になっている。このため、夏の学校の参加費は各研究機関（基研、素粒子論グループ等）からの補助と区別することなく予算に組み込まれており、結果、夏の学校参加者が各役職校の活動をサポートする形になっている。参加費はあくまで夏の学校のためだけに利用するべきではないか？あるいは、夏の学校に参加しない人に対しても「三者若手の会費」のようなものを徴収したらどうか？
- 上の意見に関連して、三者若手の収入源である夏の学校の参加費と各研究機関からの補助の使い道を区別しておかないと、今後夏の学校以外の企画を立てにくい。
- 現状は夏の学校の運営で精一杯である。もし新しい企画を考えるならば、役職校の増強が必要。

この問題はすぐに結論の出るものではなく、継続審議していく。

6 予算案【2000年度三者センター校（都立大）】

予算案については議案書発行後、大幅な修正があったので本議事録の最後に再掲する（App. A 参照）。この修正予算案は承認された。また § 5 に関連して、

- 予算の獲得は夏の学校参加者の参加費に頼らないことを目標とする。各研究機関からの補助額は、次の総会までに明らかになる。

7 来年の夏の学校について【2000年度三者準備校（広島大）】

来年の夏の学校は、議案にある通り、

1. 場所

パノラマランド木島平（今年行われた場所）（長野県下高井郡木島平村上木島 3878-2）

2. 日程

2000年7/20(木) - 7/26(水)

で行うことで決定した。また、再来年以降の夏の学校については、

- 宿泊費を安くするために国民青年の家（候補地：静岡）等の利用
- 高エネルギー実験の加速器の止まる8月の開催

を今後、検討していくことになった。

以上

A 修正予算案【2000年度三者センター校（都立大）】

この議案書は'99/09/24 現在のものです。

A.1 予算の獲得について

・前年度繰越金*：127,041

・各研究機関からの補助内訳（申請については予定）

機関名	区分	申請額	前年度援助額
基研	講師の旅費等	500,000	500,000
基研	講義録印刷費等	300,000	200,000

・研究グループからのカンパ（申請については予定）

機関名	申請額	前年度援助額
高エネルギー研究委員会	250,000	
素粒子論グループ	450,000	450,000

獲得予算合計（予定）：1,627,041

*これは前年度のみ繰越金、すなわち'99年度の黒字額である。

A.2 予算の配分について

	今年度予算(案)	前年度予算
三者	455,000	454,000
パート	145,500	188,000
講師の旅費等	500,000	500,000
講義録印刷費	300,000	270,000
合計	1,400,500	1,412,000

三者四役の予算案

機関名	今年度予算(案)	前年度予算
三者センター	10,000	10,000
三者事務局*	5,000	4,000
三者準備校	400,000	400,000
三者名簿校	40,000	40,000
三者予算合計	455,000	454,000

*:99年度三者事務局の追加予算も含む。

備考

- 三者センター

申請項目	申請額
振込手数料	10,000
申請額合計	10,000

- 三者事務局

申請項目	申請額
振込手数料	1,000
郵送費	2,000
議案書コピー代	2,000
申請額合計	5,000

- 三者準備校

申請項目	申請額
下見・契約代	40,000
ポスター代	60,000
郵送料	70,000
コピー代	50,000
文具費	10,000
申請額合計	230,000

- 三者名簿校

申請項目	申請額
郵送料立て替え*	40,000
申請額合計	40,000

* これは、厳密には支出ではない。

各パートの予算案

パート名	今年度予算(案)	前年度予算
高エネルギー	27,000	38,000
原子核	77,500	101,000
素粒子	41,000	49,000
パート予算合計	145,500	188,000

備考

● 高エネルギー

－ 高エネルギーパート準備校

申請項目	申請額
講義録作成費	9,000
OHP 関連	8,000
郵送費	8,000
諸経費	2,000
申請額合計	27,000

● 原子核

－ 原子核パート準備校

申請項目	申請額
Review Talker への謝金	30,000(10,000 × 3)
Topics 講師への謝金	30,000(30,000 × 1)
諸経費	15,000
申請額合計	75,000

－ 原子核パートセンター校

申請項目	申請額
振込手数料	2,500
申請額合計	2,500

● 素粒子

－ 素粒子パート準備校

申請項目	申請額
録音関係費	20,000
通信関係費	5,000
消耗品代	5,000
研究会費	10,000
申請額合計	40,000

－ 素粒子パート事務局

申請項目	申請額
通信費及び印刷費	1,000
申請額合計	1,000